

第182回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和5年5月18日(木) 午後3時～午後4時10分
場 所 503会議室
出席者 6名
峯岸正雄、高橋勝緒、高橋絹世、友國洋、西沢和美、渡辺康三
傍聴者 なし
事務局 環境課主幹 阿部、中島

1 開会

- 会長あいさつ

2 議題

(1)申し合わせ事項について

〈事務局説明〉

転出等で規則上会員資格を失った場合でも、本人の意思があれば会員資格を継続することについて（和光市環境づくり市民会議規則第3条関係）

申し合わせ事項（案）について説明（別紙のとおり）

《会員の了承を得て、案の内容で申し合わせ事項を決定した。》

(2)令和5年度の年間スケジュールについて

〈事務局説明〉

前回からの継続で、次の点について議論いただきたい。

・フィールドワークを7月から秋頃に変更した。会員の研鑽を積むための研修とするのか、当会の裾野を拡げるために実施するのか、目的や手法について議論いただきたい。

・昨年実施した関係団体との交流会を今年度以降も継続していくのか。

・社会福祉協議会を活用したボランティア活動について

社協の枠組みを利用して「大人のボランティア」を実施するのか。それとも、社協と当会が協力して共同で事業を実施するのか。それとも、また別の形態をイメージしているのか。

（会長）環境関係団体交流会は、年に一度でも実施していきたい。10年程前になるが、朝霞環境市民会議が、一般の市民にも募集をかけてバスで現地視察をしていた。情報交換と顔見知りになれる効率的な現場であった。

→（事務局）朝霞の活動状況について確認し、会議で情報提供する。

（会員）前回の交流会で集まった各団体の現場に行けたら良いと思う。また、交流会は団体同士だけの集まりとするのか、それとも、一般市民も対象とするのか。

（会員）交流会で環境基本計画の取り組みと当会の目的を知ってもらい、会員にな

ってもらいたい。

(会員)「大人のボランティア体験」について実施したい。既存の枠組みを利用した形でも、社協と共同実施する形でも、どちらの形態でもよい。

(3)その他

- 次回日程について

日時：6月20日(火) 15時から

議題：フィールドワーク等について

3 閉会